

第十一回ひびしん俳句大賞

ひびしん俳句大賞受賞作品 一般の部

ひびしん俳句大賞 一句

薰風や手話の指さき恋かたる 門司区 大久保 義雄

ひびしん理事長賞 四句

太陽のお裾分けですミニトマト 中間市 堀川 かずこ

山肌くえの崩くえを背負くいて赤蜻蛉せな 八幡西区 一色 隆海

敬老日無為せなに無冠の父の背せな 鞍手郡 栗田 早苗

平成を語りて尽きぬ夜長かな 門司区 緒方 秀友

優 秀 賞 五句

息災の照る日曇る日草を刈る 八幡西区 力丸 智

山笑ふ音痴の母の子守り唄 直方市 田代 暁子

スクワットに軋む老体風五月 築上郡 熊地タマリ

天守閣菊の若武者従へて 八幡西区 笠 進

未来図は白紙のまままで五月晴れ 戸畑区 大隈 亨

応募数	二、三一三名	四、一七二句
内一般(高校生以上)	三五二名	六九〇句
内小中学生	一、九六一名	三、四八二句

賞大句俳しんびび十一回

ひびしん俳句大賞受賞作品

ひびしん理事長賞（小学生の部） 十句

衣替え芝生も山も夏の色 八幡小 大野 倅花

ひまわりに負けず私も育つてく 八幡小 田中 あい

風がふき風鈴たちの話し声 若松中央小 古海 輝信

かけつこの足におちばのお友だち 西吉富小 小野 菜々美

潮の風夕日を見ながら夏座しき 広徳小 三原 颯人

息切らし敬老の日に祖母訪ね 横代小 村田 麗夢

休み明け思い出残る日焼けあと 黒崎中央小 森 涼音

ツバメの子エサをねだって大合唱 萩ヶ丘小 伊藤 七海

トンネルの向こうに見えるもみじかな 沼小 中野 孝洋

彼岸花私の足下照らしててく 中尾小 山科 真央

ひびしん理事長賞（中学生の部） 十三句

天の川夜空は願いで満ちている 門司学園中 本田 亮二

溶けそうなのソフトクリーム午後三時 曾根中 永松 央至

森の葉がはらりはらりと冬近し 上毛中 小出 石果子

向日葵のとなりには咲くのが君の顔 中原中 岩田 麻紗那

湖に映る花火は竜宮城 南小倉中 三谷 俊哉

部活動せみに負けじと声を出す 穴生中 岡部 正彦

万緑や寸秒止める千の像 黒崎中 石川 知遥

思い出と言わんばかりのぞうり焼け 沼中 木村 心晴

せみの声平和のかねとひびきあう 守恒中 森本 将成

夏夕日光りの花の隠し味 吉田中 上利 空叶

鳥たちが待ってましたと熟し柿 高見中 小川 晃平

梅雨の空阿吽の二人が身構える 熊西中 今村 妃花梨

天道虫人さし指が離陸点 大谷中 武田 明音